

## 令和3年度第1回子ども・子育て会議 議事要旨

日 時：令和3年8月24日（火） 14時00分～16時15分

場 所：村岡区中央公民館 2階 大会議室

出席者：委員15名（2名欠席） 事務局2名

### 《次第》

開会

あいさつ

委嘱状交付

議題

(1) 令和2年度事業計画の実施状況について

(2) 子育て支援施策について

閉会

### 《資料》

資料7 . . . . 令和2年度事業計画の実施状況

資料8 . . . . 令和2年度地域子ども・子育て支援事業について

資料9 . . . . 子育て支援施策の取組事例について

## 《議題》

### (1) 令和2年度事業計画の実施状況について（事務局による説明）

#### ■委員意見

- ・ 保育を必要とする人数に対して施設の受入れ可能人数が確保できているということだが、どれだけの施設で受け入れるのか。各保育所や各幼稚園の計画性がなければこの施設が必要なのか、今後必要になるのかが判断できず、施設ごとの状況が分かる計画とした方がよい。
- ・ 子育て短期支援事業（児童養護施設へのショートステイ）の利用計画が1人になっているが、コロナ感染の受入れも可能であるとのことであり、計画が1人というのは不都合とならないか。
- ・ 香美町ではファミリーサポートセンター事業を実施していないが、必要とする家庭があるように思う。移住者や移住を検討されている人にとってはこの事業があれば心強い。保育園での一時預かり事業があるが、利用料が高く利用しにくい。
- ・ 里帰り出産などで一緒に連れ帰ってきたこどもを保育園で一時預かりする場合、1か月毎日預かった場合10万円もの高額になってしまう。保育園を一度退園してしまうと再度入園が難しい地域もあり退園せずに一時預かりを利用しているが、利用料の1か月の上限を設定するなどして、香美町が他の地域と比べて子育てに手厚い部分をアピールすべきでないか。

#### □事務局

- ・ 計画及び実績は、教育・保育を希望される子どもの数に対して、地域全体で施設の受入れ体制ができているかを比較するもの。
- ・ 子育て短期支援事業の利用計画人数については、コロナが想定されていない時期に計画を策定しており、今後の計画の見直し作業の中で検討する。
- ・ ファミリーサポートセンター事業に代わるものとして、乳幼児については一時預かり事業があるが、小学生以上についてはなく、要望があれば情報提供いただきたい。

### (2) 子育て支援施策について（事務局による説明）

#### ■委員意見

- ・ 香美町には就学前施設が多くあるが園児数が非常に少ない施設がある。少子化が進み就学前施設の運営が難しくなっている中で、施設が今までどおり運営しているのは非常に効率が悪く、この施設の経営を合理化し無駄を省いていけばもっと多くの子育て支援ができるし、しっかりした支援をしなければ香美町へ帰ってきて子どもを生き育てようという人が益々いなくなる。
- ・ 宝樹保育園では、3歳4歳の園児が主食のご飯を持参することとしているが、子育て支援策として、主食材料を園に支給する、または主食費相当額を園に補助金を

出して園が準備するなど、持参しなくて済むよう主食費を0歳児から5歳児まで完全無償化を検討してもらいたい。

- ・ 毎朝だったり、入学入園のときの名前書きなど子どものことで親がやることが多い。仕事のほかに地域のことも多く、子育て関係のことも増えてくることで、家庭の中で子どもとの時間が作れないことはよくないことであり、学校や園などで今やっていることを削減する方向でチェックしてはどうか。
- ・ 入学入園時に制服を買い揃えたり、あまり使わない文房具を新しく買わなくてはならず、改善に向けた話し合いができる機会があればいい。
- ・ 保育や子育てに対するいろんな価値観がある中で、子育てや教育の考え方ややり方を提案する場を作ってほしい。また、いろいろな育て方があることを町から発信してはどうか。
- ・ 香美町は、全国的に見ても出生率は低いとは言えず、20代から40代の若い世代が減っていることが出生数の減少につながっていることが問題である。
- ・ 全国的に学校では、コロナの影響もあって、タブレットを導入してオンライン授業に取り組んでいる。香美町は田舎ではあるが東京や大阪の授業が受け入れられるような最新のWi-Fi環境を整えることが必要ではないか。
- ・ 紙おむつ代を助成している市町があり、香美町でも考えては。
- ・ 多胎児の家庭は子育てが大変であり、親が仕事をしていないような場合でもきょうだいの保育園への入園を認めるよう優遇があればよい。